



## ～新しい年を迎えて～

理事長 西澤 公一

昨年もコロナ、コロナで一年が過ぎてしまいました。日常が制限され、経済の落ち込みが続く中、できるだけ対策をとることによって感染者を出さずにこられたとホッとしています。行事は全て中止となってしまいましたが、作業所も年間を通して開所を続けることができました。

昨年はオリンピック・パラリンピックがありました。開催に当たっては賛否両論ありましたが、障がいを持つ人が、堂々と競技に打ち込む姿は百の言葉よりも雄弁にこれからのあるべき社会を見せてくれたのではないのでしょうか。ただ、多くの人にとっては、それはテレビや新聞の「向こう側」のことであり、自分の隣の人のこととして実感できるにはもう少し時間がかかるのかもしれませんが。リード・エーの事業の一つに「カルチャー教室」があります。仕事、居住以外に地域で生活を楽しむことを目指して作業所で行っている活動ですが、障がいのあるなしにかかわらず、地域の人達と共に活動しています。これは本来、障害を持つ人が自由に参加できるような場が地域にあればよく、例えば足立区の「スポーツ 体験教室」に毎月何人か参加していますが、このように身近に絵画、音楽、習字などでも地域の方々と共に参加できる場がもっと増えたらと思います。そのためにはそういった場を提供し運営する公的機関や民間団体、個人の理解と協力が広がっていくことを期待しています。

今、私たちが最も考えなければならないのは高齢化の問題です。作業所では4月から「元気タイム」がスタートしています。通信でも何回か取り上げていますが、高齢化により作業に参加することが難しくなってきた人たちのもっている能力を、ゲームや体操などのプログラムを通して、楽しみながら維持できるよう取り組んでいます。しかし将来、作業所に通うことが難しくなった時どうするかが課題です。障がいを持つ人が、介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を利用できる「共生型サービス」の制度が3年前にできましたが、高齢者福祉のサービスの利用を検討する時、高齢者福祉、障がい者福祉、双方に精通したコーディネーターが必要だと感じています。現在、相談支援専門員という制度があり、本来、生活保護の利用なども含めて障がいを持つ人が「希望する地域生活を実現する※」のにとっても有効な制度であると考えますが、残念ながら今は参入する業者が多くありません。業務の内容のわりに報酬が低いのが一番のネックだと思われ、そこを改善し実用的な制度になることを期待しています。

※（障害者総合支援法（2018年改正）“3年後の見直し”「中間整理（案）」）

あしの家でもそう遠くない将来、作業所に通えなくなる人が出てくるでしょう。その時「共生型サービス」を利用するのか、2018年に発足した「日中サービス支援型制度」（居住者が日中も居ることが前提のホーム：今までそれができなかった。つまり、基本的に昼間は外に出る人しかグループホームに入居できなかった！）のホームを新たに作るのか、入居メンバーさんの状況や資金面（法人の経営状況）を考慮しながら、早め早めに計画を立てていきたいと思っています。

今年が皆様にとって良い年でありますことをお祈りいたします。

## 作業所日記

高島 明美

12月になると、朝と夜の寒さが身に沁みますね。メンバーさんもしっかりと防寒対策してきてくれているのですが、朝の体温を測ると、低すぎて測り直すことがしばしばあります。「高島さんは測りかたがヘタだなあ」とよく突っ込まれますが、寒いからですよ！・・・ということにしておきます。

今月のいきいきタイムの音楽ではクリスマスソングがよく歌われていました。ある日、2階で内職作業をしていると、「サンタが街にやってくる」が聞こえてきたので、我慢できずに、少し飛び入り参加してきました。みんなタンバリンをもってノリノリで歌っていたので、おもわず「アンコール！アンコール！」と言ったら、もう1回、大きな声で歌ってくれました。C班さん、楽しい時間をありがとうございました。



12月の内職は、コーヒーやお菓子等の箱折が、最初から最後までずっと続きました。いつもの箱折隊のメンバーさん達がひたすら折り続けてくれたので、一か月で2万個ほど納品することができました。難しそうだなと思うものでも、すぐに慣れて素早く折れるようになるので感心しっぱなしです。



封入作業も何種類もこなしました。8種類の書類を順番どおりに封筒に入れるという作業では、奥さん・松本さん・増田さん・田沢さんが張り切ってくれていて、順番を間違えないようにと、書類の配置も工夫しながら作業してくれていました。

マスクケースの封入の封をとじる作業では、越前屋さんが大活躍してくれました。ここのところの封綴じ作業では、必ずというほど名前が拳がるようになり、丁寧に貼ってくれるので助かっています。やる気がある時の彼女は、目が一段と大きくなり、「頑張ります！しっかりやります！」と言って来てくれます。これからも頼りにしていますね！よろしくお願いします。

今月の挑戦シリーズ！です。まずは、鄭さんが、銘菓ひよこの箱の中に入れる仕切り折りをやってみました。最初は山折りと谷折りを間違えそうになりましたが、職員の手元を一生懸命見ながら真似して折っていると、すんなりとできるようになりました。出来始めたて少しすると、「飽きてきたよ」という表情をしながら作業していました。ちょっと難しめの作業だとやる気を出す鄭さんには、簡単すぎたかな？

ある土曜日の人出が少ない時には、奥さんと桑原さんに、お茶の箱にシールを貼る作業に挑戦してもらいました。二人とも、まがらないように気を使いながら作業していて、シールの貼り洩れも無くできていました。慣れてきてスピードアップできるようになったらいいですね。

年末の作業所の大掃除も無事に終わり、相変わらずの賑やかな感じで皆さん帰っていきました。おうちでもぜひ、大掃除をしてくださいね。そして、気持ちよく新年を迎えられるといいですね。来年もよろしくお願いします！



# あしの家だより



【西新井ホーム】

本間 敬子

寒さが増し街のイルミネーションが輝く季節になりました。ホームでもクリスマスの飾り付けをしてクリスマス会を行いました。今年の5月から新入居された服部さんと体験入居中の中原さんは、今年初めてクリスマス会に参加されました。自宅でのクリスマスの過ごし方とは違うと思いますが、楽しんでもらえたでしょうか？(^-^)

～・～・～・～・～奥さん60歳のお誕生日おめでとうございます！～・～・～・～・～

12月18日は奥さん60歳のお誕生日でした。当日は自宅でお兄さんにすき焼きとケーキの御馳走でお祝いをして頂いたようです。とても嬉しかったと言いながら御馳走をスマホに収めた写真を見せてくれました。60歳に見えない若々しい奥さんですが、60歳になって何かしてみたいことがありますか？と聞くと「日本代表のサッカーの試合が見たい！」「美術館に行ってみたい！」等という答えでした。たくさんの経験をして充実した60代を楽しめるといいですね！おめでとうございます(^♪



今年は緊急事態宣言が長く何かと大変な年でした。メンバーさんも世話人も感染することなく乗り切ることが出来ました。気を抜くことなく感染予防を継続して行きたいと思います。今年もあと数日となりましたが、来年は気軽に外出が出来るような状況になってくれることを願うばかりです。皆さま体調や感染には充分留意され良いお年をお迎え下さい。

【西伊興ホーム】

佐藤 美津子

2021年を振り返りますと新型コロナ、デルタ株の感染拡大に伴い、自粛を余儀なくされました。メンバーはこの2年旅行やハイキングなどの行事はすべて中止になりましたがこのところデルタ株は落ち着き始めたので来年はどこか行けると良いですね。しかしまた、新たなオミクロン株が市中感染し始めました。その為、手洗い、うがい、マスク、消毒は必須科目です。これ以上感染が拡大しない事を願うばかりです。

さて12月、女子3人はホームですっと過ごすので、土曜日のお休みは久々にランチに出かけて大いに食べまわりました。お腹の調子は・・・大丈夫だったようです(\*^\*)v 初詣にも行けると良いですね。12月と言えば待ちに待ったクリスマスです。沢山のおかずとシャンパン(もちろん、ノンアルコールです(^\_-))そしてケーキです。今年はショートステイ利用の人も加わり賑やかな夜を過ごしたようです。良かったね。

今年一年メンバーさんにとってコロナに感染することもなく、健康な日々を過ごすことが出来ました。お正月お家に帰られる人もホームで過ごす人も良いお正月をお迎え下さい。

来年も世話人一同皆が楽しく、元気に過ごせるよう頑張ります。よろしく願い致します。



## 畑日記

内堀 真樹子

師走にはいり、寒さも増してきました。私が幼いころは、住まいが田舎ということもあって、この時期に霜が降ると、朝霜柱を踏んだり、きれいに霜柱を取ってひっくり返して霜柱の長さを見て楽しんだりしましたが、最近は道もきれいに整備されていて、土と触れ合う場所が少なくなっているように思います。でも葦の会の畑には霜柱ができています。ケースに入っている新しい土にも霜が降りていたのにはびっくりでした。

11月下旬から毎年恒例、竹の塚団地での落ち葉回収が火・木・土曜日の週3回、12月の中旬まで行いました。今年から団地の落ち葉担当者が変わったため、ご丁寧に連絡をいただき、今年度の落ち葉の回収場所の確認をしました。担当の方の話では引継ぎノートの中に葦の会の専用ノートがあって、代々細かく書いてあるそうです。そんな話を聞いたら、嬉しくなりますね。回収は斎藤さん・



藤牧さん・花房さんが行きました。女性陣では越前屋さんも回収に行っていました。4か所の回収場所から1袋70Lの落ち葉の袋をトラックに積むと、トラック満載になります。最後に畑で降ろすのですが、その作業も一苦勞です。でもメンバーは落ち葉の回収を楽しんでくれるのでほんとにありがたいです。回収した落ち葉は、腐葉土にするために袋から出して落ち葉の山を作ります。山を作りながら発酵を促すために米ぬかを入れて水をかけます。この作業を秋葉職員と遼さん・青木さん・毛利さんと行っていました。皆さん落ち葉の山つくりと落ち葉の移動は手馴れているので、上手にフォークを使って山を整えていきました。この落ち葉の作業はほとんどのメンバーが行える作業で、時には女性メンバーたちも一緒に行ってもらう時もあります。特に女性たちは落ち葉が入っていた袋をきれいに畳んで、リサイクルができるよう倉庫にしまってくれるので、とても助かります。

ビニールを張り替えたばかりのハウスの中では苗がすくすく育っています。朝晩冷えるので夕方や天候の悪いときは、苗にも布をかけてあげて温かくします。また種まきをしてある育苗箱にも種が発芽しやすいようにヒート板を敷きました。すっかり冬仕様です。春に向けてコツコツ行なった植替え作業は、手袋をしていても土の冷たさで指先がとても冷たくなるのですが、白井さん・水越さん・奥さん・野尻さんや大輝さんが頑張ってくれました。畑の構造午前中は日が当たる



のですが、14時を過ぎると建物の陰となり、日が当たらなくなり一段と寒くなる畑です。雨が降って寒くても、合羽を着ていく畑班。合羽を着ると温かいねと言って、みんな首元まで前をしめています。マスクをして帽子をかぶっている姿をお互いに見て笑っているメンバー。寒くても楽しく畑に行けるっていいことですね。メンバーの元気のパワーをもらって、私も畑のお仕事頑張ります。

2022年もよろしくお願いたします。

# 奥君日記より (2021年12月)



7日 今日のいきいき水彩は南瓜・ミカン・干し柿・イチジク等を書く。大川先生と俺で絵の事より、携帯スマホでのメールの送受信について話した。「メールは良い、ラインは楽しい。」メールを使わない俺に言われてもさっぱりだった。さて今日の内職は、皆が出来た「ガチャ入れ」だ。何のキャラクターかは誰もわからなかったが、急ぎの仕事。帰りは田沢・増田さんと一緒。休んだ俺の代わりに自転車掃除をやっていたのが増田さんだそうだ。北鹿浜公園にも花の手入れに行った、と話してくれた。増田さんは何かと話題があるので楽しい・・・！

8日 今日の仕事は「マスク入れ」の内職！雨模様の今日は、ホームよりポンチョと合羽のズボンを履いて出掛けたホームの皆。俺と桑原君は着るのが下手で時間がかかる、やっとうらやうとしたら普通の靴で今日は長靴だろう！中々出発できない二人！遅刻をした二人だ！

11日 今日は朝より、職員高島さんより言われた「シール貼りだ！」この仕事俺がやるのは珍しいものだ。午後より島田さんと俺・明久君・斎藤君の4人で、公園掃除に行く。公園掃除の後には畑に寄り、落ち葉を降ろして腐葉土に混ぜた。

13日 今日の給食当番、俺・花田君・田沢さんの3人は大分早くなったと思った。今日は何と言っても俺が帰りに作業所にカバンを忘れて、取りに戻ったのが一番印象に残っている！カレンダーの入って居るエコバックを持っての帰り道、「いつもの重いカバンが背中から消えている！」伊興小学校のあたりまで来て分かった事。あってよかった。



16日 今日の自転車掃除は6台、綺麗なものは1台だけ。最初から綺麗だったものだ。なかなか汚れが落ちずに午後まで掛かってしまい、吉井さんに磨いて貰って終わった。最後は何時も吉井さんだと思った。エアロビがあって、沢山着込んだ為に動きにくかった変な俺が居た。越前屋さんはかわいい、ピンクのエプロンをしてエアロビをやっていたのが印象的だ。本人曰く「私は先生！？」と言う。保育士を夢見ているのかな？

17日 今日は一番に「明日！オッ君誕生日おめでとう！ケーキ食べるの？」とは釜本さん。俺の場合は、年をとると普通は言うが「年をとるでは無くて歳を取る。毎年、年を引いていく若さの秘訣」給食当番は俺・田沢さん・池田君だ。何も言わなかったが池田君がお盆を洗ってくれたのが嬉しかった、俺が居た！

20日 今週より畑仕事のB班の皆。俺は植え替えて、松本君は外の花壇の手入れをしていたのが印象的だ。今日のB班は7人組だった。「荒野の7人では無く畑の7人だ！と言い喜んでるのは俺だけだ？」

21日 今日は花田君と一日、「色々な花を植え替えた」午後は午後で「檜崎さんが作る池田からの注文、寄せ植えの手伝いをした。パンジー・ビオラの寄せ植えは秋葉さんが作っていて、その手伝いもした。秋葉さん曰く「何か土が温かい、と言われた。」俺の手は大分暖かい様だ。さて、実習生も午前中、畑仕事に精を出す。戦力になっていたのが素晴らしいと思った。

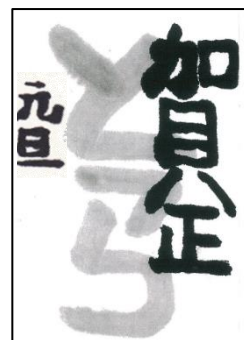
23日 今日は職場会議があり、話す人が大体決まっているのが面白い。司会は内堀さん！ホームでは、何と言っても良かった「クリスマスパーティー」この年になって「プレゼントが嬉しい！」俺曰く「凄いご馳走だ！毎日がクリスマスなら良いね！」お腹いっぱい一年に一度だけで良い！明日から現実の仕事が待っている。ホームのクリスマスは今日で終わった。





## 《大谷津先生 ありがとうございます!》

長い年月ずっと葦の会カルチャー習字教室の講師を務めてくださいました「大谷津先生」が12月末をもって退任されました。まだまだ教えていただきたかったのですが、ご高齢の為越谷から通って来られるのが難しくなってきたとの事で、退任の運びとなりました。先生は皆が取り組みやすいように、書く文字を毎回「今日は『あ』のつく言葉にしましょう。何がいいですか?」とみんなに聞いてくださり、和也さんを筆頭に皆が口々に「あり・あか・あし……」などなどたくさん出してくる中で、じゃあ「あか」を書きましょうと言いながら朱液でお手本を書いてくださいます。それを見ながら皆が夫々に書いて、先生に見てもらい直してもらいながら、練習します。落ち着いて精神統一して……と言いたいところですが、そうもいかない状況の中で、皆の個性を尊重しつつ熱心に教えてくださいました。毎年（一昨年はコロナの為中止でしたが）区展に全員の作品を出品してきました。先生の最後の教室は、恒例の年賀状書。先生への感謝と来年への思いを込めて書きました。先生長い間、本当にありがとうございました。どうぞお元気でお過ごしください。



1月からは「柴田先生」に教えていただきます。柴田先生よろしくお願ひ致します。

### カルチャー教室 今後の予定

さをり	1月22日	陶芸	1月22日
習字	1月12日・26日	水彩画	1月14日・28日

### < 花売り情報 >

1月 6日(木)・18日(火)・26日(水)	竹ノ塚センター
1月12日(水) ビッグ・エー花畑店	1月13日(木) ベルクス南花畑店
1月19日(水) ビッグ・エー南花畑店	1月20日(木) ベルクス古千谷店

### 編集後記

あけましておめでとうございます。皆様、どんなお正月を過ごされたのでしょうか？ 私はオミクロン株の感染拡大に不安を覚えつつも、息子・娘夫婦を短時間で家に迎え、ちょっとお正月っぽさを味わいました。さて、年始早々映画の話ですが、「梅切らぬバカ」という映画を12月に見ました。自閉症を抱える息子と母親が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描いています。息子が50歳を迎え、やがて訪れる息子が一人で生きていく未来を想う母の想い。ちょっと笑えて、一緒に怒って、ほろっときて。その中に今起きている日常生活にある事の問題提起。当法人もグループホームを運営していますが、グループホームがすべてではないと思います。「住みたいところで、住みたい人と」それは障がいがあるなしに関わらず、全ての人に対していえる事。（子供もしかり。安心して生活・成長できる場所が必要です。）そして、その選択肢が用意されている事が大切なのです。今住み慣れた家・場所で暮らし続ける為の、サポートは整っているとは言い難い状況です。もちろんグループホームも充分とは言えません。私自身を考えても、もっと高齢になった時に、どういう暮らし方ができるのか・・・不安です。そして何よりも、地域の人（こう書くと、とても漠然としますが）とのつながり。映画の中で、隣人が初めて名前でも呼んでくれたところから関係が変わっていく様子をみて、当法人が目指す地域の中で「顔の見える関係を作る事、がより大切だと痛感しました。また、このタイトルはことわざ「桜きるバカ、梅切らぬバカ」から引用していますが、このことわざは「樹木の剪定には、それぞれの木の特性に従って対処する必要がある」という戒め。転じて、人との関わりにおいても、相手の性格や特徴を理解しようと向き合うことが大事である」ことを指しています。今求められている多様性の基本がこの言葉ですね。まだ、都内で上映しています。機会があれば是非観てください。コロナ禍の先行きはまだまだ不透明ですが、できない事よりもできる事、できる方法を考えて。今年も葦の会らしさを発揮して、メンバー・職員皆で元気に楽しく働いて、過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。（池田）